

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	朝霞(30)庁舎新設等建築その他工事	階数	地上4F、地下0F
建設地	埼玉県朝霞市(陸上自衛隊朝霞駐)	構造	RC造
用途地域	用途指定なし、防火指定なし	平均居住人員	172人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2019年1月9日
敷地面積	11,087 m <sup>2</sup>	作成者	西川 学
建築面積	1,596 m <sup>2</sup>	確認日	2019年1月10日
延床面積	6,264 m <sup>2</sup>	確認者	大島 智則



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
断熱性能の高い材料を使用しているため、省エネルギー性能が高い。	特になし。	
<b>Q1 室内環境</b> 大きな窓を設けており、ブラインドによるグレア調整も可能。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐震安全性I類(1.5)として設計している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物位置、形状、外装、色彩について周辺のまちなみとの調和を図っている。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性能の高い材料を使用している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> グリーン購入法特定調達品目を使用している他、躯体と仕上を分別可能にしている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率95% 自転車置場を設けており、交通負荷抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS朝霞(30)庁舎新設等建築その他工事**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、C ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.40		-				<b>2.4</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.0</b>	0.15	<b>2.5</b>	1.00				<b>2.1</b>
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50				
1.2 遮音		<b>1.0</b>	0.50	<b>2.1</b>	0.50				
1 開口部遮音性能		<b>1.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.30				
2 界壁遮音性能			-	<b>2.0</b>	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	<b>3.0</b>	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	<b>3.0</b>	0.20				
1.3 吸音			-		-				
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.5</b>	0.35	<b>1.5</b>	1.00				<b>1.5</b>
2.1 室温制御		<b>2.0</b>	0.50	<b>2.1</b>	0.50				
1 室温		<b>2.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.63				
2 外皮性能	断熱等級4	-	-	<b>4.0</b>	0.38				
3 ソーン別制御性			-		-				
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20				
2.3 空調方式		<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30				
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>2.8</b>	1.00				<b>2.9</b>
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.30	<b>2.4</b>	0.30				
1 昼光率		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.50				
2 方位別開口			-	<b>1.0</b>	0.30				
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.20				
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30				
1 昼光制御		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00				
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15				
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25				
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.2</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00				<b>3.2</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63				
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を採用している。	<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00				
4.2 換気		<b>2.0</b>	0.40	<b>2.3</b>	0.38				
1 換気量		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33				
2 自然換気性能			-	<b>3.0</b>	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		<b>1.0</b>	0.50	<b>1.0</b>	0.33				
4.3 運用管理			-		-				
1 CO <sub>2</sub> の監視			-		-				
2 喫煙の制御			-		-				
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-				<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.5</b>	0.40	<b>2.4</b>	1.00				<b>2.4</b>
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	<b>2.0</b>	0.60				
1 広さ・収納性			-		-				
2 高度情報通信設備対応			-	<b>2.0</b>	1.00				
3 バリアフリー計画			-		-				
1.2 心理性・快適性		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.40				
1 広さ感・景観			-	<b>3.0</b>	0.50				
2 リフレッシュスペース			-		-				
3 内装計画		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.50				
1.3 維持管理		<b>2.0</b>	0.50		-				
1 維持管理に配慮した設計		<b>2.0</b>	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		<b>2.0</b>	0.50		-				
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.7</b>	0.30		-				<b>3.7</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>4.6</b>	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	耐震安全性I類(1.5)として設計している。	<b>5.0</b>	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.3</b>	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>2.0</b>	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	シャワー室排気をSUS製ダクトとしている。	<b>4.0</b>	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給湯:一般配管用ステンレス鋼管(SUS)⇒C、排水:排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管⇒B、給水:水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(VLP)⇒B E不使用	<b>5.0</b>	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.20		-				
2.4 信頼性		<b>2.4</b>	0.20		-				
1 空調・換気設備		<b>1.0</b>	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		<b>2.0</b>	0.20		-				
3 電気設備	駐屯地内電気室からの高圧幹線、本工事高圧受電盤を二重化してい	<b>4.0</b>	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		<b>1.0</b>	0.20		-				
5 通信・情報設備	基地内ネットワークが引込まれているため、災害情報の入手が可能。	<b>4.0</b>	0.20		-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.8</b>	0.30	<b>4.4</b>	1.00	<b>3.2</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>					<b>3.8</b>	0.50	
1 階高のゆとり	階高4.25m				5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					2.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>	5000N/m2				<b>5.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>2.8</b>	1.00			
1 空調配管の更新性			2.0	0.20			
2 給排水管の更新性			3.0	0.20			
3 電気配線の更新性			3.0	0.10			
4 通信配線の更新性			3.0	0.10			
5 設備機器の更新性			3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>	外観パースによる検討を行っている。		<b>4.0</b>	0.40	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>	断熱性能の高い材料を使用している。		<b>4.0</b>	0.20	-	-	<b>4.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>2.0</b>	0.10	-	-	<b>2.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>	[BEI][BEIm] = 0.92		<b>3.8</b>	0.50	-	-	<b>3.8</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価							
4.1 モニタリング			<b>3.0</b>	-	-	-	
4.2 運用管理体制			<b>3.0</b>	-	-	-	
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
1.1 節水			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.4</b>	0.60	-	-	<b>3.4</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生砕石、押出法ホリスレンフォーム、ビニル床タイルシート、天然木化粧合板		5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上 または 躯体+塗装 としている。		4.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.3</b>	0.20	-	-	<b>3.3</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.5</b>	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ポリスチレンフォーム3種bを使用している。		4.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>	ライフサイクルCO2排出率95%		<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.5</b>	0.33	-	-	<b>2.5</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	自転車置場を設置している。		5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 騒音			<b>3.0</b>	0.33	-	-	
2 振動			<b>3.0</b>	0.33	-	-	
3 悪臭			<b>3.0</b>	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			<b>1.0</b>	-	-	-	
3 日照障害の抑制			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			<b>3.0</b>	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	朝霞(30)庁舎新設等建築その他工事	BEE	0.9	BEEランク	★★
------	--------------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.2	+	2.0	=	5.2	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上			すばらしい 8.0以上
					

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.2
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.2
耐久性高い材料を使用し、ライフサイクルコストを低減している。			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
周辺にあわせ芝張りを行っている。			

 : 入力欄